



エコ発信局 ～いそちゃんの部屋～

ここでは、身近なところから環境意識を高めようと、エコに関する豆知識を発信しています。季節やブームなどに合わせて、月に一度のペースで更新していきますので、継続してお読みいただければ幸いです。

(「いそちゃん」とは執筆を担当する千葉大学環境 ISO 学生委員会のキャラクターです)

vol.6-2018年2月 再生可能エネルギー

再生可能エネルギーの紹介



近年、再生可能エネルギーが注目されています。自然の力から生み出すエネルギーで、使っても自然の力自体がなくなるものを目指します。再生可能エネルギーのなかで電気を作れるものをご紹介します。再生可能エネルギーの長所は、火力発電や原子力発電のように枯渇に向かわず、二酸化炭素を増加させません。発電した電気を電力会社に売ってお金を得ることができ、地球環境にやさしく安全なエネルギーとして普及が進んでいます。

1 太陽光発電

太陽光発電は、エネルギー源が太陽光であり太陽光パネルを使った発電方法で一般家庭でも普及している発電方法です。日照時間の違いはありますが、日本全国どこでも使うことができます。



2 風力発電

風力発電は、風の力で風車を回し、その動力を発電機に送り電気を発生させるシステムです。海岸線や山の稜線のように風が強いところに風力の適地があります。最近では、海洋上に大きな風力発電を設置する洋上風力も計画されています。



3 バイオマス発電

バイオマスとは、動物や植物から作り出される有機性のエネルギーで、一般に化石燃料を除いたものを指します。そのエネルギーを燃焼したりして発電するしくみを「バイオマス発電」といい、バイオマス燃料を燃焼することでタービンを回し、発電機を動かすことで発電を行います。



4 地熱発電

地熱発電では、地下深くに存在するマグマの熱を利用して発電をおこないます。地上で降った雨は、地下のマグマ層まで浸透すると、マグマの熱によって蒸気にかわり地下奥深い1000m～3000mに溜まります。井戸を掘ってこの高温の蒸気を取り出し、タービンを回すことで発電するのが、地熱発電の基本的なしくみです。



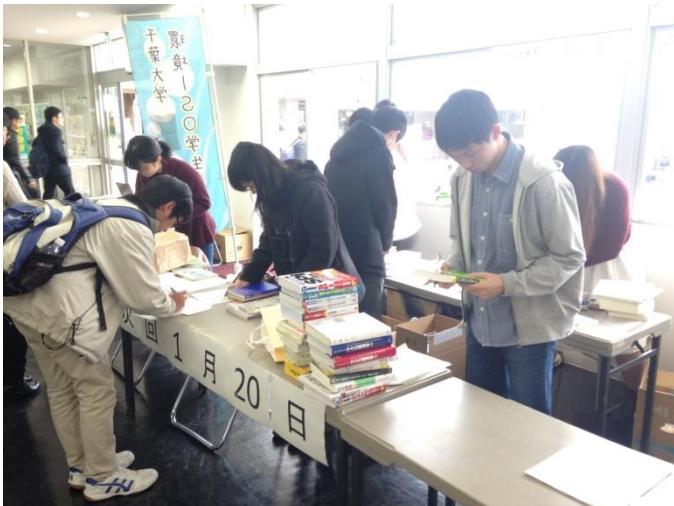
5 水力発電

水力発電では、ダムや水路で高低差をつくって水の力を利用してタービンを回して発電を行います。最近では、農業用水路や上下水道管などをつかった小水力発電も作られるようになってきました。



古本市の紹介

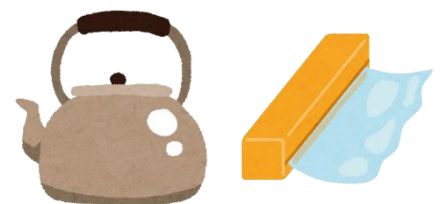
大学生の古本市では、環境 ISO 学生委員会が教職員や学生から不要になった教科書や専門書、および文庫本などの古本を回収し、安価で販売しています。これは廃棄物の削減は勿論のこと、来場者数に 3R への理解を深めてもらうことを目的としています。また来場者の中には新入生も多く、高価な学術書を安く手に入るというメリットも兼ねています。2016 年度には計 1,303 冊を回収、うち 674 冊を販売し、売り上げは 150,460 円でした。売り上げは返金を希望する本提供者には返金し、残りは寄付金として環境活動の資金に充てています。



ウォームビズを紹介！④

環境省では、「COOL CHOICE」とよばれる、生活における地球温暖化対策として「賢い選択」を促す運動を推進しています。その一環として、毎年11月1日から3月31日までに実施している「ウォームビズ」について、来年3月まで毎月ご紹介したいと思います。今回は、「部屋の使い方」についてご紹介します(*)。

みんなが1つの部屋に集まることで、他の部屋の暖房や照明などのエネルギーを使わずに済みます。また、お湯を沸かしたいときにはやかんで沸かすことで電気ポットの保温による電気代を節約することができます。同様に、残ったご飯は食品用のラップフィルムで小分けにして冷めたら冷凍することで、炊飯器の保温による電気代を節約することができます。



* 参照：環境省 HP